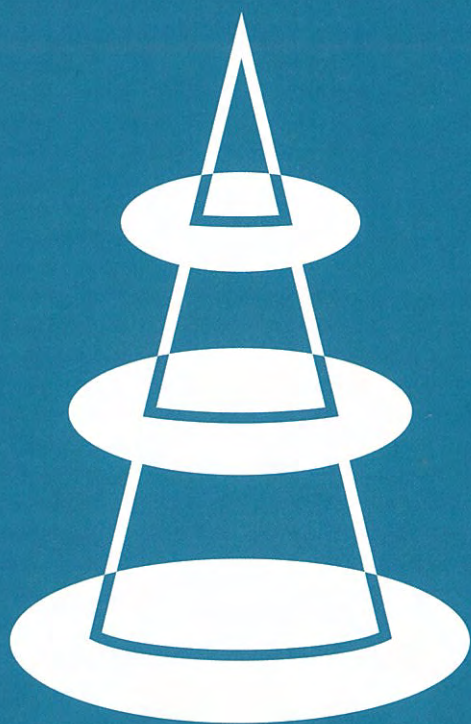


あしたの まちは 私がつくる



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会 委員長
田上 富久

2013長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様へ心よりお祝いを申し上げます。

長崎市都市景観賞は、長崎の歴史的背景と地理的特色を活かし、周囲のまちなみや雰囲気に調和した作品に賞を贈ることにより、市民の皆様の都市景観に対する関心を高めるとともに、建築にたずさわる方々の励みになることを願って、1987年(昭和62年)に「都市景観建築賞」として始まり、今日に至っております。

今回で18回目の開催を迎え、これまでに表彰を受けた作品は87件になりました。これもひとえに市民の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、2013年は「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産への推薦が決定し、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と合わせて2つの世界遺産を持つまちの実現に向けた取り組みが前進する年となりました。

また、長崎駅周辺や出島表門橋などの大型公共事業や、まちなかの魅力を磨く「まちぶらプロジェクト」など、長崎のまちの形を大きく変える取り組みも着実に進んでいます。

このような中で、関係者の皆様のご協力を賜り、長崎市都市景観賞を開催することができ、多くの市民の皆様からたくさん作品が応募されたことを大変嬉しく思っております。

今回は、新たな試みとして応募作品の市民投票を行うなど、市民の皆様により身近に長崎の景観の魅力を感じていただくような取り組みを進めてまいりました。その結果、応募から選考までの過程で、多くの市民の皆様に参加していただくことができました。

景観とは、その場所が持つ歴史や文化、風俗、そして市民の皆様の生活によって長い時間をかけて作り上げられるものです。つまり、「長崎の景観」とは、「長崎らしさ」そのものであると言えます。

今回都市景観賞及び奨励賞を受賞された作品は、いずれもこの「長崎らしさ」が強く感じられる作品であり、これらの作品をつくり、守り、育んでこられた所有者や設計者、施工者の皆様を称えることは、長崎のまちの魅力の高まりにつながるものと確信しております。

今後ともこの賞が、市民の皆様親しまれ、長崎らしいまちづくりの一翼を担うことを祈念しますとともに、賞の応募に際し推薦をいただいた市民の皆様、選考にあたりご尽力くださった選考委員の皆様、ご協力いただきました関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます、私の挨拶といたします。



長崎商工会議所 会頭
上田 恵三

2013長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この長崎市都市景観賞は、長崎らしいまちづくりを進めるため、周囲の街並みや雰囲気に調和した建築物など、長崎の歴史的背景と地理的特色を活かした特徴ある都市景観の形成に寄与している建物等に対して贈られるもので、今回で18回目を迎えることとなりました。

今回は、186件の応募がある中、6件の建築物が受賞されましたが、それぞれの作品ともに、国際観光都市長崎としての潤いあるまちづくりに相応しく、長崎らしい景観に寄与するものばかりだと存じます。特に、「ANAテレマート株式会社長崎支店」は、工業団地という殺風景な場所に緑を取り入れた「やすらぎ」感のある環境と緑化という今日的な課題に取り組みされており、これからのビル建築の参考となるものと存じます。

また、「料亭青柳」と「吉宗本店」は長崎の食文化を古くから培ってきた老舗であるとともに、「占勝閣」と「海の上に立つマリア像と神ノ島教会」は長崎が取り組んでいる世界遺産登録に相通じる建造物であり、今回の選考は観光振興という観点からも大変意義深いことであると存じます。

長崎市中心部におきましては、長崎駅周辺再整備事業や長崎市中央部・臨海地域などの都市再生事業が進められており、これからの数年間において長崎市の景観は大きく変わろうとしています。

景観は、その地域の顔であり、より魅力ある住みよい街であり続けるためには、景観を大きなテーマとして捉え、歴史的かつ地域の特色を持った景観を創造することが、これからの大きな課題であると存じます。

更に、2014年は長崎がんばらば国体や長崎がんばらば大会が開催され多くの方が長崎を訪問されることになり、数年後には九州新幹線長崎ルートが開通する予定であることから、今後、交流人口の拡大への積極的な取り組みが重要でございます。

この長崎市都市景観賞は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしや、これまでに培われた歴史、文化などを改めて見直す機会となり、長崎らしく調和のとれたまちづくりを促進するとともに、おもてなしの心でお迎えするなどのソフト面と両立したまちづくりを行なううえで重要な役割を担うものであります。

長崎市都市景観賞が、今後とも景観に対する市民の皆様のご理解や関心を高め、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなりますことをご期待申し上げますとともに、今回ご協力いただきました皆様並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、選考委員の皆様へ御礼を申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会 座長
宮原 和明

2013長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。

長崎市都市景観賞が発足したのは今から26年前の、昭和62年(1987年)で、今回で18回目を迎えます。当時はバブル景気で日本全体が建築ブームに沸き立っていた時代でした。それまで歴史あるいくつかの洋館が失われ、また当時「旧香港上海銀行」も取り壊される計画が持ち上がりました。そのため長崎市の歴史的景観を守る立場から長崎市民が大きく反対し、建物は現地保存されることになりました。翌年には長崎らしい景観を考える機運の中で、長崎市の魅力ある景観を守り育てるために、全国でもいち早く「長崎市都市景観条例」が制定され、将来の長崎市の都市景観を誘導するような良質な建築を奨励するために「長崎市都市景観賞」が設けられたのです。

都市景観賞創設から26年経ちますが、現在、社会の背景は低成長経済や地球温暖化問題をきっかけにスクラップアンドビルドから長寿命で環境と調和した良質建築が命題になり、また歴史ある良質の建築を保存持続させる機運も高まっています。つまり成長社会から地域特性を生かした環境と経済を統合した持続可能な社会への変革の考え方に時代は変わってきています。また景観の考え方も浸透し、どこの都市においても景観は都市政策の施策の根幹に置かれるようになりました。さらに平成17年(2005年)には、都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、「景観法」が施行されました。一方長崎市は平成17年から18年にかけて周辺の長崎半島から西彼杵半島の、野母崎、高島、伊王島、外海、琴海を含む7カ町と合併し、産炭地端島、池島や大村湾を望む歴史と自然豊かな地域を含む都市へと変化しました。

このような時代背景の中で、長崎市都市景観賞は、新築建物等が減少し選出する対象も変わりつつあります。今回、大きな建物部門では、都市景観賞として「ANAテレマート株式会社長崎支店」が選ばれました。この建物の特徴は、無味乾燥な工業団地内にあって壁面緑化や芝生庭園が「やすらぎ感」をあたえ景観に寄与していることが評価されたものです。歴史のある部門では、三菱重工業(株)長崎造船所「占勝閣」と「料亭青柳」が選ばれました。「占勝閣」は明治37年(1904年)所長社宅として建てられ、皇族の宿泊を機に迎賓館として利用されるようになった建物で、森の中に建つ洋館は貴重な景観資産として高く評価されました。「料亭青柳」の現存建物は明治12年(1879年)ごろ建て替えられたもので、丸山の街並みから高くそびえる石垣と建物が一体となって風情ある景観形成に寄与していることが評価されたものです。奨励賞は慶応2年創業の「吉宗本店」で、建物自体が万屋町のシンボリック存在で長崎らしい情緒が感じられることが評価されました。テーマ部門の都市景観賞は、「長崎水辺の森公園」で、港湾理め立て事業で市民賛否のあった事業が2004年に完成し、市民に親しまれる公園として定着してきたことが評価されたものです。奨励賞は「海の上のマリア像と神ノ島教会」で、長崎らしい景観であることが評価されました。小さな建物部門は残念ながら2次選考において賞に値するものがないことで見送られました。

今回の都市景観賞は、新築建物減少により、応募数も少なくなり顕彰に値するものが先細りの感があり、事業継続のありようも検討しました。

今後は、これまで顕彰された都市景観賞のストックを活かし、市民を巻き込んだ工夫や展開を行い、この賞が、市民や所有者、設計者、施工者にとって、より魅力的な賞となっていくことを願っております。

最後に、今回の選考に携わった選考委員会の皆様にお礼を申し上げますと共に、長崎市都市景観賞が今後ますます発展することを願っております。

【選考委員会】

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学環境・建築学部 名誉教授 (建築)

委員

有馬 一郎

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 長崎地域会長 (建築)

岩永 堅之進

長崎市管工業協同組合 理事長 (設備)

奥松 俊博

長崎大学大学院工学研究科 准教授 (土木)

川端 真理子

株式会社ながさきプレス 編集長 (マスコミ)

木場 耕志

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部 支部長 (建築)

小林 純一

長崎県電気工事業工業組合長崎支部 監事 (電気)

佐々野 正治

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 理事 (宅地建物)

鉄川 進

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 支部長 (建築)

馬場 宣房

株式会社長崎新聞社 論説委員長 (マスコミ)

松尾 學

NPO法人 長崎市美術振興会 (美術)

松田 浩志

長崎市造園建設業協同組合 (造園)

武藤 剛

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 理事 (建築)

吉川 國夫

社団法人 長崎県測量設計業協会 技術委員会 副委員長 (測量)



『大きな建物部門』

ANAテレマート株式会社長崎支店



【選考理由】

神ノ島工業団地の入口近くに建つ ANA のコールセンターの建物である。この地域は工業団地であるゆえに非常に無味乾燥な景観である。しかしながら、このコールセンターは環境や景観にも配慮し、緑化に対する取り組みが伺える。建物の用途がコールセンターという性質であるので、単純で一般的なオフィスビルでも良かったと思うのであるが、大きな開口部から内と外のつながりを持たせ、敷地に対してゆとりを持って建物を配置しており、そのゆとり空間を緑化しつつデザインを施している。建物内で働く人々また、外部から見ると人々に対して、いわゆる『やすらぎ』感を与えてくれそうである。

シンプルで開放的な建物の上部にルーバーと植栽の組み合わせが印象的なデザインとなっている。

(有馬 一郎)

所在地 / 神ノ島町1丁目331番90号

主用途 / 事務所・コールセンター

階数 / 地上2階

面積 / 18,000㎡

構造 / 鉄骨造

建築年 / 2011年

■所有者■

全日本空輸株式会社

代表取締役社長 篠辺 修

東京都港区東新橋 1-5-2

汐留シティセンター

■設計者■

株式会社安井建築設計事務所

代表取締役社長 佐野 吉彦

大阪市中央区島町 2-4-7

■施工者■

鹿島建設株式会社

代表取締役社長 中村 満義

東京都港区元赤坂 1-3-1





『歴史のある部門』

占勝閣



三菱重工株式会社長崎造船所 提供

【選考理由】

三菱重工長崎造船所第三ドックの北側の丘にある2階建ての木造洋館。明治37年に当時の所長社宅として建てられたが、皇族の宿泊を機に迎賓館として利用されるようになった。その宿泊後、当閣が風光景勝を占めるとの意から特に、占勝の2字を選び「占勝閣」と命名された。今では船の命名式などの祝賀会や造船所の定年退職者を招いた見学会などに利用されている（一般見学不可）。設計者は、鹿鳴館やニコライ堂を建てたイギリス人建築家ジョサイア・コンドルの弟子である曾禰達蔵。建物は優雅なイギリス風で、総建坪は123坪。長崎造船所の歴史と伝統を物語っているようで、今まで長崎市都市景観賞を受賞していないのが不思議なくらいすばらしく、長崎の歴史とともに歩んできた洋館である。

(木場 耕志)

所在地／飽の浦町1番1号
主用途／迎賓館
階数／地上2階地下1階
面積／約410㎡
構造／木造（一部煉瓦造り）
建築年／1904年

■所有者■
三菱重工株式会社長崎造船所 所長 尊田 雅弘
長崎市飽の浦町1-1



『歴史のある部門』
料亭青柳



【選考理由】

かつて江戸の吉原、京の島原と並ぶ花街と言われた長崎丸山の情緒を現在に伝える木造の建物。寛政年間（1879-1801）に遊女揚屋として創業されたのを起源に、明治12（1879）年ごろ、建て替えられ、130年余り風雪に耐えてきた。丸山の街並みから高くそびえる石垣は、緑のオオイタビ（ツタの1種）で覆われ、建物と一体となって風情ある景観を形成している。小庭には文化12（1815）年の灯籠が残り、屋根瓦には明治の建て替え時に大阪堺から取り寄せた「堺尾利瓦」の刻印が入っている。幕末には佐賀藩士、大隈重信や長州藩士、井上馨などが通い、平和祈念像を制作した彫刻家の北村西望が愛した料亭としても知られる。周辺では高層マンションなどの開発で花街の風情が次々に失われる中で、異彩を放つ建物となっており、江戸情緒を伝える歴史的建物の維持管理に腐心する所有者の街に対する愛着と心意気が伝わる。

（馬場 宣房）

所在地／丸山町7番21号
主用途／料亭及び住居
階数／地上2階
面積／約496㎡
構造／木造
建築年／1879年

■所有者■

料亭青柳 女将 山口 睦子
長崎市丸山町7-21





『テーマ部門』
市民の憩う水辺の公園賞
長崎水辺の森公園



【選考理由】

1988年長崎都心・臨海地帯の再開発「ナガサキ・アーバンルネッサンス2001構想」が策定され、翌年「長崎港内港開発事業」の一環として着手し、2004年「長崎水辺の森公園」が完成に至った。当時は臨港部において工場や倉庫群があり、貨物船等の停泊場で交通の渋滞地域でもあったが、この水辺の森公園の完成と共に解消され市民の憩いの場となっている。この公園は、芝生広場と森で構成されている「大地の広場」、縦横に流れる水路による「水辺のプロムナード」、山からの湧水を利用した「水の庭園」の3つのエリアに区分され景観性や機能性に配慮されている。また、昼間の景観と夜の光を演出した光景の違いには驚愕致すと共にイベント等にも利用され、市民の集いの場所として重宝されている。

(松田 浩志)

所在地／常盤町
主用途／緑地広場・公園
面積／6.5ha
構造／埋立盛土・平面緑地
完成年／2004年

■所有者■

長崎県
長崎市江戸町2-13

■設計者■

株式会社アーバンデザインコンサルタント(緑地)
代表取締役 堤 八恵子
福岡市博多区博多駅前2-12-26福岡Dビル2階
株式会社上山良子ランドスケープデザイン研究所(緑地)
ランドスケープアーキテクト 上山 良子
東京都小金井市中町3-8-1
アジア航測株式会社(橋梁) 代表取締役社長 小川 紀一郎
東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル
株式会社ワークヴィジョンズ(橋梁) 代表取締役 西村 浩
東京都品川区東品川1-5-10 丸長倉庫B
株式会社石井幹子デザイン事務所(照明) 代表取締役 石井 幹子
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-11
株式会社溝上建築設計事務所(レストラン・トイレ)
代表取締役 溝上 浩
長崎市大橋町25-6

■施工者■

株式会社上滝(緑地) 代表取締役 上滝 満
長崎市新地町5-17
株式会社田浦組(緑地) 代表取締役 岩永 一洋
長崎市横尾4-18-1
株式会社長崎西部建設(緑地・浮棧橋)
代表取締役 福田 昌稔
長崎市玉園町2-37
折田建設工業株式会社(緑地) 代表取締役 國吉 正夫
長崎市金堀町44-7
株式会社大島造船所(橋梁) 代表取締役社長 南 浩史
西海市大島町1605-1
三菱重工鉄構エンジニアリング株式会社(橋梁)
取締役社長 吹原 正晃
広島県広島市中区江波沖町5-1三菱重工株式会社社内
株式会社松本豊松園(植栽) 代表取締役 松本 正登
長崎市松原町1405
株式会社第三電機(照明) 代表取締役 加来 久明
長崎市松が枝町5-39
有限会社若竹創設(トイレ) 代表取締役 鶴田 好雄
長崎市三川町1311-8



第18回
長崎市都市景観賞 奨励賞
2013

『歴史のある部門』

吉宗本店



【選考理由】

長崎市民にはお馴染みの、ちやわん蒸しと蒸しずしの老舗「吉宗」。創業は慶応2年、今や県内各地はもとより東京などにも支店を持つ人気店だ。吉宗の本店であるこの建物は、浜市アーケードの1本北側の万屋通りにある。ショップやカフェが立ち並ぶ賑やかな通りの中で、ひととき存在感ある風格を漂わせ、歴史を感じさせる造りや看板、連なる提灯が趣深い。昭和2年、二代目大造（だいぞう）と三代目宗次（むねじ）が今の吉宗本店を築いたそうで、当時は石炭ボイラーの大きな煙突があり、吉宗のシンボルとして市民から親しまれていたという。煙突はその役目を終えてなくなったが、今も吉宗の建物自体は万屋町（現浜町）のシンボリック的存在だ。くunchiの庭見せなどで拝見するのもまた、長崎らしい情緒が感じられる。そのような市民の感覚や文化的な意味でも、すぐれた都市景観に寄与しているといえるだろう。

また、吉宗本店の建物は平成24年に大きな改修を行った。昭和初期の日本家屋の趣はそのままに、長崎町屋の伝統意匠である中庭なども復元。歴史と伝統を守る努力なども含め、様々な面から評価できる。

（川端 真理子）

所在地／浜町8番9号

主用途／店舗

階数／地上3階

面積／662.7㎡

構造／木造

建築年／1927年

■所有者■

有限会社 吉宗 代表取締役 吉田 徹
長崎市浜町 8-9

■設計者■

株式会社建友社設計 代表取締役社長 木場 耕志
長崎市平野町 3-5

■施工者■

株式会社谷川建設 代表取締役社長 谷川 喜一
長崎市岡町 9-1





第18回
長崎市都市景観賞 奨励賞
2013

『テーマ部門』

長崎の海を見守りつづける賞

海の上に立つマリア像と神ノ島教会



【選考理由】

海路で長崎を訪れる人は、湾奥にその街を見る前にまず白いマリア像に迎えられる。このマリア像と神ノ島教会がある神ノ島は、キリスト教禁制の時代にキリシタンが潜伏していた島であった。明治になって禁制の高札が撤廃されたあと、この地にも教会が建設された。現在の教会は明治30年ごろにデュラン神父によって3代目として建設された煉瓦造りであるが、外壁は白く塗られているため海の青や山の緑によく映えている。また、正面の鐘塔の両側に会堂部の屋根より低い切妻の屋根がかかっているのが特徴的である。神ノ島は戦後埋立てによって地続きとなり、その後も近辺で埋立てが行われ往時の印象は薄れつつあるが、教会は昭和24年に建てられたマリア像とともに、長崎の海を見守りつづける。

(鉄川 進)

所在地 / 神ノ島2丁目148番
主用途 / 宗教法人施設
階数 / 地上1階
面積 / 290㎡
構造 / 煉瓦造り・壁面漆喰塗
内部三廊式リブヴォールト天井
建築年 / 1897年

■所有者■

カトリック長崎大司教区 教区長 高見 三明
長崎市上野町10-34



長崎市都市景観賞表彰作品一覧

年度等	種別	物件名	所在地
1987 第1回 昭和62年度 (5件)	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧) カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
1989 第2回 平成元年度 (5件)	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蛍茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
1991 第3回 平成3年度 (5件)	都市景観賞	(旧) 川口鼈甲店	浜町7番13号
	都市景観賞	シーボルト通り	新大工町
	奨励賞	(旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
		(旧) 泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
1992 第4回 平成4年度 (4件)	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
1993 第5回 平成5年度 (4件)	都市景観賞	(旧) 金子建設株式会社本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
	奨励賞	復元唐船「飛帆」	—
1994 第6回 平成6年度 (2件)	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
1995 第7回 平成7年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎電気ビル	城山町3番19号
		(歴史のある部門) 常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		(テーマ部門: 歴史ロマン賞) 龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	(小さな建物部門) 林兼石油(株) 浦上給油所	松山町4番41号
1996 第8回 平成8年度 (5件)	都市景観賞	(小さな建物部門) 三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		(歴史のある部門) 岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		(テーマ部門: 建築エコアップ賞) 賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	(大きな建物部門) 長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		(テーマ部門: 四季プロムナード賞) 文教通り	文教町、大橋町
1997 第9回 平成9年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎市科学館	油木町7番2号
		(歴史のある部門) 深堀の石塀群	深堀地区
		(歴史のある部門) 宝製綱株式会社	小曾根町1番39号
	奨励賞	(小さな建物部門) 高野眼科医院	平野町10番3号
		(テーマ部門: ベイサイドシンボル賞) 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	鮎の浦町1番1号

年度等	種別	物件名	所在地
1998 第10回 平成10年度 (7件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 福砂屋本店	船大工町3番1号
		(歴史のある部門) 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	(大きな建物部門) ホテルモントレ長崎	大浦町1番22号
		(小さな建物部門) 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		(小さな建物部門) 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		(テーマ部門: 四季プロムナード賞) サントス通り	上野町、橋口町、岡町
(テーマ部門: 自然賞) 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長		
1999 第11回 平成11年度 (3件)	都市景観賞	(小さな建物部門) 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		(歴史のある部門) 料亭 富貴樓	上西山町5番4号
	奨励賞	(テーマ部門: プロムナード賞) 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
2001 第12回 平成13年度 (6件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 小野原本店	築町3番23号
		(歴史のある部門) 長崎大学経済学部 瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		(テーマ部門: さかみち部門) どんどん坂	南山手町
	奨励賞	(大きな建物部門) 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		(大きな建物部門) 九州電力株式会社新地変電所	新地町6番10号
		(大きな建物部門) 長崎出島ワーフ	出島町1番1号
2003 第13回 平成15年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		(テーマ部門: 建築リニューアル賞) 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		(テーマ部門: 街角ディスプレイ賞) 福砂屋 松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	(大きな建物部門) 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
		(小さな建物部門) 八幡町公民館	八幡町3番9号
2005 第14回 平成17年度 (6件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎県美術館	出島町2番1号
		(小さな建物部門) ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		(歴史のある部門) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	(大きな建物部門) 斜行エレベーター	上田町、相生町
		(テーマ部門: 動く風景賞) 超低床電車	—
		(テーマ部門: 赤煉瓦塀のあるプロムナード賞) 三菱通り	飽の浦町1番1号
2007 第15回 平成19年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		(小さな建物部門) B A R 猪ノ口屋	栄町4番11号
		(歴史のある部門) 文明堂総本店	江戸町1番1号
		(テーマ部門: 鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞) 寺町通り	寺町
2009 第16回 平成21年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎市立図書館	興善町1番1号
		(小さな建物部門) 長崎大学医学部「良順会館」	坂本1丁目12-4
		(歴史のある部門) 料亭一力	諏訪町8-20
		(テーマ部門: 四季折々の表情が美しい田園景観賞「大中尾棚田」	神浦下大中尾町
	奨励賞	(大きな建物部門) カトリック西町教会	音無町9-34
2011 第17回 平成23年度 (6件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎港松が枝国際ターミナルビル	松が枝町7番16号
		(歴史のある部門) 三菱重工業株式会社長崎造船所 史料館	飽の浦町1番1号
		(テーマ部門: 伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞) 古賀植木の里	松原町
	奨励賞	(小さな建物部門) 株式会社文明堂総本店 浜町店	浜町8番27号
		(歴史のある部門) 陶々亭	十人町9番4号
		(テーマ部門: 地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞) 琴海戸根川と桜	琴海戸根町

品質で選べば — **朝日フェンス**



WIRE NET & FENCE
朝日スチール工業株式会社
<http://www.asahi-fence.co.jp>

本 社 香川県高松市花園町1丁目2番29号 TEL 087-833-5151
九州支店 第1営業部 TEL 092-471-7621 FAX 092-471-7623
第2営業部 TEL 092-471-7622 FAX 092-471-7624
東京 03-3239-4815 大阪 06-6244-1910 仙台 022-355-2521

長崎地魚うまかもん と 郷土料理

長崎市浜町11-12 095-820-6060

酒菜・飯菜・海鮮
ふびす屋



TOTO



使う人のきもちを
第一に考えて完成した
かつてない
使いやすさと美しさ。

あしたのキッチン

CRASSO
クラッソ

長崎ショールーム 電話:0120-43-1010 〒851-2130 長崎県西彼杵郡長与町まなび野3-1-1
営業時間:10:00~17:00 休館日 毎週水曜日(但し、祝日の水曜日は開館)、夏期休暇、年末年始
TOTOホームページ www.toto.co.jp

長崎の暮らしを支えています。



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

〒850-8501 長崎市新地町3番17号 TEL.095-826-1112 FAX.095-822-7004
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

高性能超低床電車 5000形

長崎スマートカード

**路面電車でも
長崎スマートカード**

- バスと共通の回数券としてご利用頂けます。
- 回数券カードは車内販売致しております。(3,000円)

長崎電気軌道株式会社 長崎市大橋町4-5 TEL.095-845-4111

総合技術で社会に貢献し
地域とともに歩む

西日本菱重興産株式会社
RYOKO 取締役社長 木庭 健二

〒850-8677 長崎市飽の浦町5番3号
TEL 095-861-6540 FAX 095-862-8939
ホムパツ <http://www.west-ryoko.co.jp/>



ホテルモンテレ長崎



長崎とゆかりの国ポルトガルをテーマに
当ホテルはつくられました。
素朴で落ち着いたあるしつらえの館が
皆様のくつろぎのひとときを演出いたします。

長崎市大浦町1-22
TEL 095-827-7111
FAX 095-820-7017

老李セット
ちゃんぽん (小) 1,000円
ラーメン (小) 900円
長崎水餃子・炒飯 (小)・デザート

**元祖 生からすみ
ちゃんぽん**
950円

<http://www.laolee-g.com/>

新地中華街本店 長崎市新地町12-7-2F 昼/11:30~15:00
TEL 095-820-3717 夜/17:00~22:00

老李 水餃子

中華街本店
Lao Lee Group

ぷりぷりの皮の中から
ジュシー肉汁たっぷり

創業文化十年 二百周年 ~since 1813~



料亭 一力

Tel(095)824-0226

長崎市諏訪町 8-20

Fax(095)826-3583



長崎市都市景観賞は、
自然環境を活かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、
洗練されたまちづくりに寄与する建築物などに贈られる賞です。

都市の景観は、伝統や歴史が育んだ地域の文化を映し出しています。
このトロフィーのフォルムは「炎」であり、都市景観賞が、私たちの愛する長崎の文化を守り育てるための
「灯り」となることを願ったものです。また、ガラスに封印されたコバルトブルーは、大航海時代から続いている
「開港都市としての長崎」を象徴する海の色です。

〔表彰実行委員会〕

委員長

田上 富久(長崎市長)

副委員長

森岡 公隆(長崎商工会議所副会頭)

委員

前田 克彦(長崎商工会議所専務理事)

山口 雅二(長崎商工会議所建設部会長)

中村 知也(一般社団法人長崎県建設業協会長崎支部支部長)

有馬 一郎(公益社団法人日本建築家協会九州支部長崎地域会長崎地域会長)

村瀬 廣記(西部ガス株式会社長崎支社執行役員長崎支社長)

川島 邦元(社団法人 長崎県建築士会長崎支部副支部長)

岩永堅之進(長崎市管工業協同組合理事長)

寺田 浩一(長崎県電気工事業工業組合長崎支部支部長)

森重 孝志(社団法人 長崎県測量設計業協会会長)

古賀 俊治(長崎市造園建設業協同組合 理事長)

西野 廣幸(一般社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部副支部長)

角村順一郎(公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部支部長)

藤本 晃生(長崎市建設局都市計画部長)

監事

吉野 明文(長崎商工会議所事務局長)

井口潤一郎(長崎商工会議所青年部会長)

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

一般社団法人長崎県建設業協会長崎支部

公益社団法人日本建築家協会九州支部長崎地域会

西部ガス株式会社長崎支社

社団法人 長崎県建築士会長崎支部

長崎市管工業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

社団法人 長崎県測量設計業協会

長崎市造園建設業協同組合

一般社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部

〔後援〕

NHK 長崎放送局

NBC 長崎放送

KTN テレビ長崎

NCC 長崎文化放送

NIB 長崎国際テレビ

NCM 長崎ケーブルメディア

エフエム長崎

長崎新聞社

ながさきプレス

〔協賛〕

朝日スチール工業株式会社九州支店

えびす屋(竹村グループ)

台湾料理老李

TOTO 株式会社長崎営業所

長崎自動車株式会社

長崎電気軌道株式会社

西日本菱重興産株式会社

株式会社文明堂総本店

ホテルモンテレ長崎

料亭一力



長崎市都市景観賞
シンボルマーク

3つの精円は「海」「まち」「空」を表しています。
自然と人間の営みが呼応しながら、長崎市の
都市景観が未来へ向けて広がり、高まって
いくさまをシンプルなフォルムで表現した
ものです。



長崎市都市景観賞表彰実行委員会